

公益社団法人日本技術士会 CPD 行事 報告書

開始日時	2024年9月14日(土)	13時30分
終了日時	2024年9月14日(土)	17時00分
名称	第137回 CPD 防災講演会	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部、千葉県弁護士会	
開催場所	千葉県弁護士会館3階講堂とリモート Zoom	
行事内容	1. 開会挨拶 熊田支部長 2. 講演「行政、社協、NPO、士業は、本当に連携できるのか? ~災害現場から千葉県の「来るべき日」を考える~」 (1)「令和5年台風13号被災者支援活動 コーディネータ報告」 講師:加納 基成氏 (CVOAD・千葉南部災害支援センター代表) (2)「士業連携の成果と課題」 講師:上野 雄一氏 (千葉県支部)、永田 豊氏 (千葉県弁護士会) (3)「令和6年能登半島地震 被災者支援活動 コーディネータ報告」 講師:明城 徹也氏 (CVOAD 事務局長) (4)「講演を聴講して」 千葉県、千葉市防災危機管理部	
参加人数	千葉県支部会場33名とZoom23名、千葉県弁護士会会場9名とZoom15名	

講演概要：

(1)「令和5年台風13号被災者支援活動 コーディネータ報告」加納講師

- ・2019年の3回の台風で千葉県は大被害を受け、屋根シート張り、倒木処理が多かった。
- ・被災者支援と人材育成、発災時の情報収集と発信、迅速・的確な支援の災害支援中間組織が必要で、浸水家屋、被災者の心のケア、土砂災害、孤立被災者等に取り組んでいる。

(2-1)「土業連携の成果と課題」上野講師

- ・被災者相談会に参加の弁護士会から、「隣地の崖が崩れそう」と技術士会に相談があった。
- ・技術士2名による現地調査を実施し、当該崖は土砂災害特別警戒区域に指定されており、斜面安定性の確認評価を行い、斜面安定度対策案を提示し、崖崩壊の危険性は少ないとした。

(2-2)「土業連携の成果と課題」永田講師

- ・令和5年台風13号については、電話無料相談会を開催した。弁護士会被災者向けニュースを発行し、技術系ボランティア団体と合同で被災地での相談会は13回、相談件数31件。

(3)「令和6年能登半島地震 被災者支援活動 コーディネータ報告」明城講師

- ・国の防災基本計画は、国、都道府県・市町村はボランティアの自主性を尊重しつつ、日本赤十字社、社会福祉協議会及びNPO等との連携を図り、災害中間支援組織を含めた連携体制の構築を図ることである。災害時防災ボランティア活動が円滑に行われるよう活動環境の整備活動をJVOAD（全国災害ボランティア支援団体ネットワーク）は能登半島地震で行った。

(4)「講演を聴講して」 千葉県、千葉市防災危機管理部から発言があった。

講演会の最後に活発な質疑応答があった。



開会挨拶熊田支部長



加納講師



会場風景